

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	神戸医療福祉専門学校三田校
設置者名	学校法人神戸滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法士科	夜・通信	1725 単位時間	320 単位時間	
	作業療法士科	夜・通信	1260 単位時間	320 単位時間	
	言語聴覚士科	夜・通信	1380 単位時間	320 単位時間	
	救急救命士科	夜・通信	1035 単位時間	160 単位時間	
	義肢装具士科 4年制	夜・通信	1515 単位時間	320 単位時間	
	義肢装具士科	夜・通信	1125 単位時間	240 単位時間	
社会福祉専門課程	整形靴科	夜・通信	1500 単位時間	160 単位時間	
	整形靴科 1年制	夜・通信	780 単位時間	80 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページの情報公開バナーから公表する URL: http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸医療福祉専門学校三田校
設置者名	学校法人神戸滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株)ザ・シンフォニーホール代表取締役	2017・3・25 ～2020・3・ 24	経営分析
非常勤	学校法人京都滋慶学園 理事	2017・3・25 ～2020・3・ 24	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸医療福祉専門学校三田校
設置者名	学校法人神戸滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書の作成過程：指定科目については指定規則に則って授業計画書を作成。その他の科目については、教育課程編成委員会等で業界の方からの意見を参考に授業計画書を作成している。</p> <p>授業計画書の作成・公表時期：2019年7月25日</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則において学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。 各学科で定める授業科目の試験により成績評価を行っている。</p> <p>(参考) 学則</p> <p>第 22 条 試験は各学期ごと又は科目終了時に行い、試験の成績評価は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。</p> <p>第 23 条 所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。但し、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1未満であっても、各科目及び実習にかかる出席時間数が所定の3分の2に満たない者は、補講を受けなければ進級又は卒業することができない。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標の設定：GPAによる。 試験の成績評価は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。 ※試験の成績評価は試験の点数の合計（100点満点）が、90点～100点が「A」、80点～89点が「B」、70点～79点が「C」、60点～69点が「D」、59点以下「F」と評価する。「D」以上を合格点とする。 各成績は、A（4.0）、B（3.0）、C（2.0）、D（1.0）としてGPAはAの単位数×4.0+Bの単位数×3.0+Cの単位数の×2.0+Dの単位数×1.0の合計を、各学生が履修済みの総単位数で除した数を求めることによって算出する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>第 23 条 所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。但し、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1未満であっても、各科目及び実習にかかる出席時間数が所定の3分の2に満たない者は、補講を受けなければ進級又は卒業することができない。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	神戸医療福祉専門学校三田校
設置者名	学校法人神戸滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法士科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼夜	3450 単位時間	1200 単位時間	1050 単位時間	1200 単位時間	時間	時間
	昼間		単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		151人	0人	6人	26人	32人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	0人 (0 %)	34人 (91.9 %)	3人 (8.1 %)
(主な就職、業界等) 病院・リハビリテーションセンター・福祉施設等			
(就職指導内容) 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
158人	12人	7.6%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由、進路変更ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	作業療法士科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3495 単位時間	1305 単位時間	510 単位時間	1680 単位時間	単位時間	単位時間
	昼夜		単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		111人	0人	6人	30人	36人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	0人 (0 %)	27人 (100 %)	0人 (0 %)
(主な就職、業界等) 病院・リハビリテーションセンター・福祉施設等			
(就職指導内容) 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
111人	7人	6.3%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由、進路変更ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情		

報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	言語聴覚士科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3410 単位時間	285 単位時間	2565 単位時間	560 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		118人	0人	5人	24人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	0人 (0 %)	35人 (97.2 %)	1人 (2.8 %)
（主な就職、業界等） 病院・リハビリテーションセンター			
（就職指導内容） 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 言語聴覚士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121 人	5 人	4.1%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由、進路変更ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼夜	2295 単位時間	795 単位時間	285 単位時間	1215 単位時間	単位時間	単位時間
	昼間		単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		100 人	0 人	3 人	22 人	25 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 4. を参照
学修支援等

(概要) 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
42人 (100%)	0人 (0%)	35人 (83.3%)	7人 (16.7%)
(主な就職、業界等) 消防署、病院、海上保安庁等			
(就職指導内容) 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) 救急救命士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99人	10人	10.1%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由、進路変更ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	義肢装具士科4年制	—	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3465 単位時間	1215 単位時間	735 単位時間	1515 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	72人	0人	6人	26人	32人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	1人 (4.3 %)	22人 (95.7 %)	0人 (0.0 %)
（主な就職、業界等） 義肢装具製作施設、病院等			
（就職指導内容） 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 義肢装具士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79人	8人	10.1%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、進路変更ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学		

生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	義肢装具士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2760 単位時間	1065 単位時間	450 単位時間	1245 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		55人	0人	6人	25人	31人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0 %)	20人 (100 %)	0人 (0 %)
（主な就職、業界等） 義肢装具製作施設、病院等			
（就職指導内容） 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 義肢装具士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63 人	5 人	7.9%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由、進路変更ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		社会福祉専門課程	整形靴科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1845 単位時間	360 単位時間	405 単位時間	1080 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		46 人	0 人	2 人	7 人	9 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 4. を参照

学修支援等 (概要) 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	25人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 整形靴製作企業、健康靴小売店等			
(就職指導内容) 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48人	3人	6.3%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由、進路変更ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	社会福祉専門課程	整形靴科1年制	—	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	885 単位時間	195 単位時間	240 単位時間	450 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	3人	0人	2人	5人	7人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	1人 (50 %)	1人 (50 %)	0人 (0 %)
（主な就職、業界等） 整形靴製作企業、健康靴小売店等			
（就職指導内容） 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	1人	33.3%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、進路変更ほか		

(中退防止・中退者支援のための取組)

クラス担任制で、定期・不定期の個人面談を行っている。また、学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個人面談を行っている。経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法士科	300,000 円	1,000,000 円	400,000 円	その他(実習費・施設管理費)
作業療法士科	300,000 円	1,000,000 円	400,000 円	その他(実習費・施設管理費)
言語聴覚士科	300,000 円	900,000 円	200,000 円	その他(実習費・施設管理費)
救急救命士科	100,000 円	900,000 円	100,000 円	その他(実習費・施設管理費)
義肢装具士科 4 年制	300,000 円	1,000,000 円	400,000 円	その他(実習費・施設管理費)
義肢装具士科	300,000 円	1,000,000 円	450,000 円	その他(実習費・施設管理費)
整形靴科	100,000 円	800,000 円	100,000 円	その他(実習費・施設管理費)
整形靴科 1 年制	100,000 円	800,000 円	100,000 円	その他(実習費・施設管理費)
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ホームページの情報公開バナーから公表する URL: http://www.kmw.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針としています。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
平島病院	2 年	卒業生
川村義肢 株式会社	2 年	保護者代表
学校法人百合学院中学校・高等学校	2 年	高等学校関係者
特定非営利活動法人言語障害者の社会参加を支援する会しゃべろーよ 地域活動支援センター トークゆう ゆう	2 年	企業等委員
株式会社ひまわり	2 年	企業等委員
一般社団法人 日本義肢協会 近畿 支部	2 年	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL: http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/
第三者による学校評価 (任意記載事項)
団体名：一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構 受審年月：平成27年4月1日

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ホームページの情報公開バナーから公表する URL: http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/
